

# 「小さな拠点」及び「地域運営組織」の形成推進

- 中山間地域等において、将来にわたって地域住民が暮らし続けることができるよう、必要な生活サービスの維持・確保や地域における仕事・収入を確保し、将来にわたって継続できるような「**小さな拠点**」の形成(集落生活圏を維持するための生活サービス機能の集約・確保と集落生活圏内外との交通ネットワーク化)が必要。
- あわせて、地域住民自らによる主体的な地域の将来プランの策定とともに、地域課題の解決に向けた多機能型の取組を持続的に行うための組織(地域運営組織)の形成が必要。
- 2024年度までに小さな拠点を全国で1,800箇所(2021年度:1,408箇所)形成し、うち地域運営組織が形成されている比率を90%(2021年度:85%)とすることを目指す。

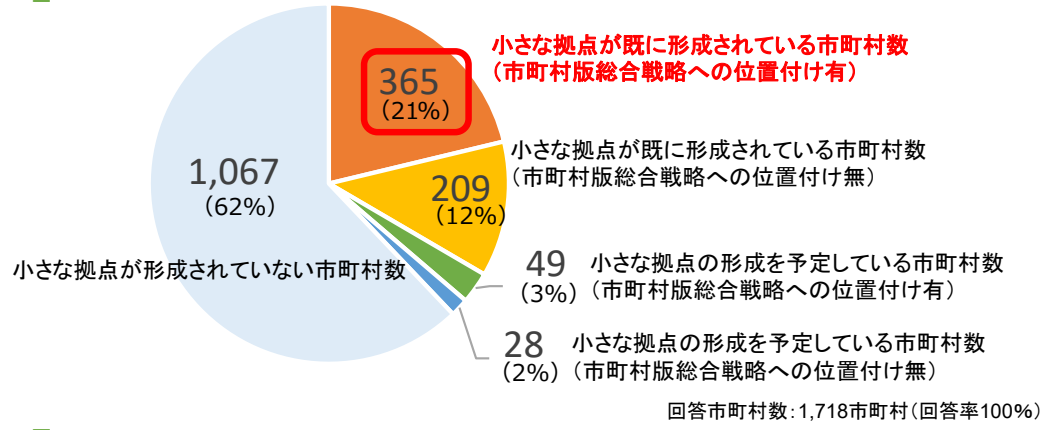


➡ 中山間地域をはじめとして、暮らし続けられる地域の維持

# 小さな拠点づくりに関する実態（内閣府調査）

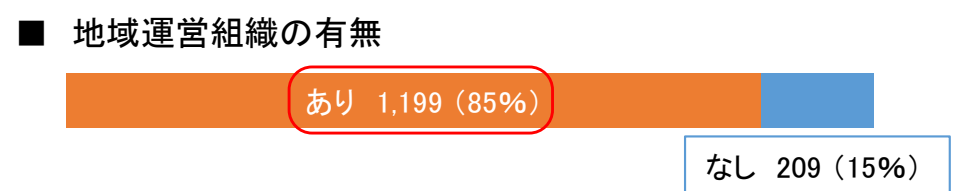
- 回答のあった市町村のうち、約33%にあたる574市町村において小さな拠点が形成
- そのうち、市町村版総合戦略に位置付けて取組を進めている市町村は365市町村（約21%）あり、**全国で1,408箇所**（2020年度：1,267箇所）の小さな拠点が形成
- 1,408箇所のうち、85%の箇所地域運営組織が形成され、地域の課題解決に取り組む

## 小さな拠点の現況



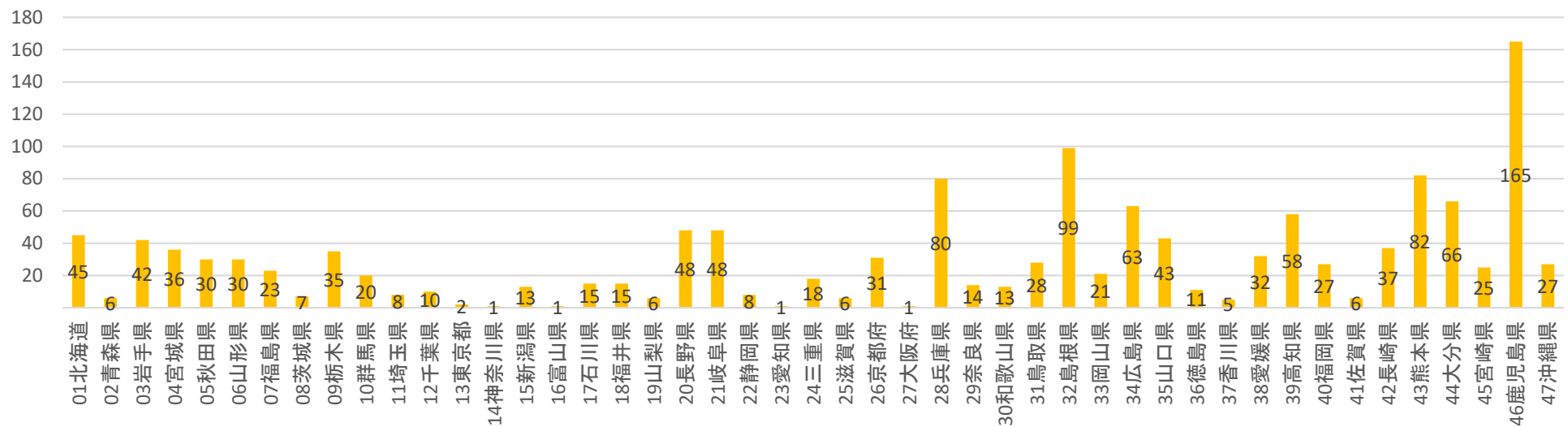
## 小さな拠点における地域運営組織の現況

（市町村版総合戦略に位置付けのある小さな拠点1,408箇所について集計）



## 都道府県別の小さな拠点の形成状況

（市町村版総合戦略に位置付けのある小さな拠点1,408箇所の内訳）



出典：内閣府「令和3年度小さな拠点の形成に関する実態調査」（令和3年12月） [https://www.cao.go.jp/regional\\_management/about/chousa/2021/index.html](https://www.cao.go.jp/regional_management/about/chousa/2021/index.html)

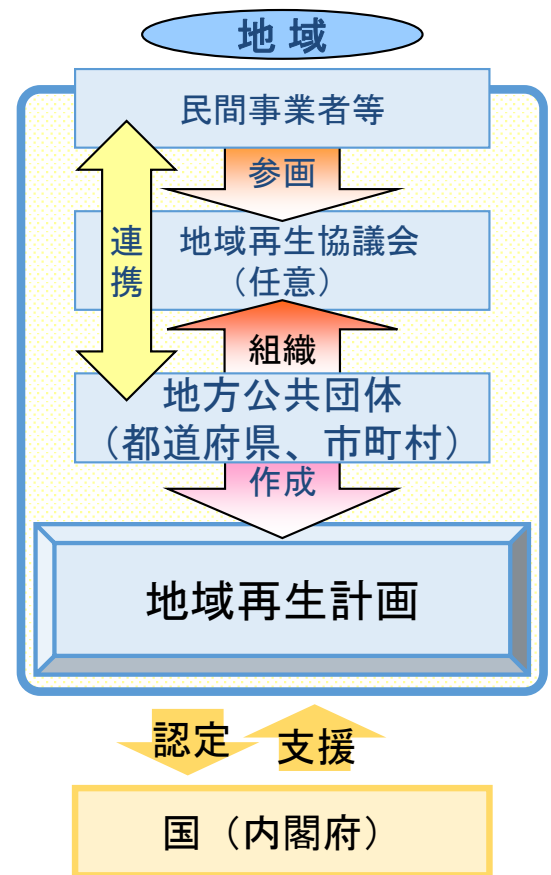
# 地域再生制度を活用した「小さな拠点」の形成

地方公共団体が地域再生制度を活用することにより、小さな拠点や地域運営組織の形成に向けた様々な支援が可能に

○ **地域再生制度**（地域再生法（平成17年法律第24号））

地方公共団体が行う自主的・自立的な取組（地域再生計画）を支援。

○ **地域再生計画**



地域再生制度を活用すると府省横断的に様々な支援措置を活用できる。



## 小さな拠点の形成に向けた主な支援制度

① 国から地方公共団体への交付金による支援

地方創生推進交付金を活用し、小さな拠点の形成や地域運営組織の形成に向けたソフト事業について支援が可能に

② 土地利用計画による農地転用・農振除外や開発許可等の特例

集落に必要な生活サービス施設等を誘導する小さな拠点の形成と周辺農地の保全・利用を図る地域再生土地利用計画の作成（都道府県知事同意）により、農地法や農振法、都市計画法の特例が活用可能に

③ ふるさと会社への投資を応援する税制

地域の雇用創出や生活サービスの提供などの小さな拠点事業を行う株式会社に対して、個人が出資した場合に、出資額分を寄付金控除（小さな拠点税制）

※①～③は地域再生計画の作成・認定が必要

# 具体的な取組 「小さな拠点」づくり事例集 ～取組概要と形成プロセス～

各地域が時間をかけて発展させてきた「小さな拠点」や「地域運営組織」の形成プロセスについて、より一層の理解を深められるよう、各地区の事例について、その取組概要とともに、取組を始めたきっかけや取組が発展していく過程などをいくつかのステップに分解し、一連のプロセスとして整理。



## 【掲載事例：20地区】

店っこくちない(岩手県北上市)、ひっぽのお店 ふでいち(宮城県丸森町)、吉島地区交流センター(山形県川西町)、瀬替えの郷せんだ(新潟県十日町市)、南信州とよおかマルシェ(長野県豊丘村)、くま水車の里(静岡県浜松市)、コミュニティうきさと みんなの店(三重県松阪市)、奥永源寺溪流の里(滋賀県東近江市)、ムラの駅 たなせん(京都府南丹市)、村営ふれあいマーケット長谷店(兵庫県神河町)、川上村ふれあいセンター(奈良県川上村)、東西町コミュニティセンター(鳥取県南部町)、はたマーケット(島根県雲南市)、あば商店(岡山県津山市)、きらめき広場哲西(岡山県新見市)、川西郷の駅いつわの里(広島県三次市)、ほほえみの郷トイ(山口県山口市)、農村交流施設森の巣箱(高知県津野町)、集落活動センター(高知県橋原町)、宇佐市地域交流ステーション(大分県宇佐市)

※取組テーマごとに事例を掲載した事例集第2弾を作成予定

## 見開き2ページ構成

## 1ページ目：事例の概要

**事例No.01 <岩手県北上市内町>「店っこくちない」**

〇日用品や食料品を販売する店舗の敷地によって、買い物目的とした市中心部への移動交通のニーズが高まったことから、「NPO法人くちない」を設立して自家用有償旅客運送を開始。その後、店舗を更迭させ、特産品の製造・販売などによって収益性を高めるが持続的に運営。〇店舗は路線バスの停留所にもなっており、さらに店舗内に交流スペースを設置したり、農家の必要農具の貸出交換を行ったりすることで、多様な地域住民が店舗に足を運ぶ機会を提供し、交流の拠点となっている。

地名状況	取組内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>人口1,510人、49世帯、高齢化率44% (H30)</li> <li>北上市の中心から約10km離れた市の界隈に位置する山あいの地区</li> <li>市中心部まで路線バスはあるが、平日のみ週で4往復</li> <li>H19に1Aの支店と店舗が開設し、買い物目的とした中心部への移動交通のニーズが高まる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>自家用有償旅客運送の実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>登録ドライバー11人で、自家用有償旅客運送事業を運営、公共交通空白地域有償運送(自宅～バス停等)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>利用料金：1日1,000円</li> <li>登録有償運送(自宅～市中心部の店舗間や市街等)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>利用料金：1日800～1,200円</li> </ul> </li> </ul> </li> <li><b>特産品の製造・販売</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>〇地域の特産品「ごしよ」を用いた、「ごしよチョコック」を製造・販売、〇市の「ふるさと納税産店」に「ごしよチョコック」が製造され、その場で直接運送等の販売を扱う。</li> </ul> </li> </ul> </li></ul>
市の地域コミュニティ政策	運営体制
<ul style="list-style-type: none"> <li>H12から本格的に地域コミュニティ政策に着手</li> <li>総合計画において地域住民との協議の下で「地区計画」を位置づけ</li> <li>H18から公民館を交流センターとし、「地域づくり組織」にその指定管理業務委託と交付金を交付を開始(市内町地区では、54区内に設立された市内町自治協議会が地域づくり組織に指定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北上市 → 運営支援</li> <li>市内町自治協議会                     <ul style="list-style-type: none"> <li>地区交流センターの指定管理業務</li> <li>各種イベントの開催</li> </ul> </li> <li>「店っこくちない」                     <ul style="list-style-type: none"> <li>設立</li> <li>NPO法人として</li> <li>NPO-NETサポートなど</li> </ul> </li> <li>山形再生プラン助成金(経済庁、H20)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>専任労働者、H22</li> <li>公民館によるまちなか再生業務に関する調査研究事業(経済省、H26)</li> <li>暮らしを支える地域運営組織に関する調査研究に力がるモデル事業(経済省、H26)</li> </ul> </li> </ul>

## 2ページ目：形成プロセス



# 「小さな拠点」づくり 全国フォーラム

- ・令和3年度「小さな拠点」づくり全国フォーラムを1月14日(金)にオンラインで開催
- ・参加申込 273名(参加アカウント数 316)
- ・当日の講演の様子はHPにて公開  
(<https://www.chisou.go.jp/sousei/about/chiisanakyoten/index.html>)

## 当日の概要

### 1. 基調講演

#### 「共助のススメ」

株式会社イミカ代表取締役 原田博一 氏

### 2. 事例紹介と解析

〈事例解析：明治大学 小田切徳美氏／株式会社イミカ 原田博一氏〉

#### ① 持続可能な地域運営組織の経営

道の駅南信州とよおかマルシェ(長野県豊丘村) 岡田敬 氏

#### ② 県の視点から見た、地域の多様な取組

高知県中山間振興・交通部中山間地域対策課 岡野太郎 氏

### 3. パネルディスカッション

明治大学農学部教授 小田切徳美 氏

株式会社イミカ代表取締役 原田博一 氏

道の駅南信州とよおかマルシェ(長野県豊丘村) 岡田敬 氏

高知県中山間振興・交通部中山間地域対策課 岡野太郎 氏

